

業務改善活動報告2025

「調剤方法変更による支出削減、労働軽減」

薬剤部

松浦 ゆきみ
河西 初音
北川 禎二

錠剤の粉碎調剤について

錠剤の内服が困難な方・経管栄養の方に対し錠剤を粉碎して調剤を行っている

粉碎調剤のデメリットは...

- ・粉碎による安定性の低下、薬効の低下
- ・粉碎による味・匂い・刺激性の出現
- ・薬剤ロス(乳棒乳鉢への付着、分包機・分包紙への付着)
- ・中止・処方変更があった際は回収できず破棄になる
- ・調剤に時間がかかる



粉碎件数を減らせないかな

今回行ったこと① OD錠の粉碎を止める

OD錠の粉碎を止め、粉碎指示があっても錠剤のまま調剤する

OD錠(Orally Disintegration) = **口腔内崩壊錠**
口の中で速やかに崩壊し、水がなくても飲める薬

少量の水で溶解するため、粉碎しなくても経管投与が行える

もともと酸化マグネシウム(マグミット)、ランソプラゾールOD錠は粉碎調剤は行っていなかったが、今回OD錠すべてにおいて粉碎調剤を止めた

今回行ったこと① OD錠の粉碎を止める

当院採用 OD錠一覧

アジルサルタンOD錠20mg「サワイ」

アムロジピンOD錠2.5mg「VTRS」

アムロジピンOD錠5mg「VTRS」

シロスタゾールOD錠50mg「サワイ」

メマンチン塩酸塩OD錠5mg「DSEP」

メマンチン塩酸塩OD錠20mg「DSEP」

プレガバリンOD錠25mg「DSEP」

プレガバリンOD錠75mg「DSEP」

ロスバスタチンOD錠2.5mg「日医工」

シロドシンOD錠4mg「KMP」

オランザピンOD錠5mg「NIG」

ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「オーハラ」

ドネペジル塩酸塩OD錠5mg「オーハラ」

オロパタジン塩酸塩OD錠5mg「明治」

リスペリドンOD錠1mg「サワイ」

ガランタミンOD錠8mg「日医工」

ポラプレジングOD錠75mg「サワイ」

ファモチジンOD錠10mg「オーハラ」

ゾニサミドOD錠25mgTRE「SMPP」

アトルバスタチンOD錠10mg「トーワ」

トルバプタンOD錠7.5mg「オーツカ」

リバーロキサバンOD錠10mg「バイエル」

ボグリボースOD錠0.3mg「武田テバ」

ナフトピジルOD錠25mg「日医工」

オルメサルタンOD錠20mg「DSEP」

ゾルピデム酒石酸塩OD錠5mg「サワイ」

ブロチゾラムOD錠0.25mg「JG」

リクシアナOD錠60mg

ロラタジンOD錠10mg「VTRS」

これらOD錠に粉碎指示があっても粉碎しない

今回行ったこと② 割線の無い錠剤の半錠調剤

割線の無い錠剤の1回0.5錠指示

半分に割る線が無いので今までは粉碎していた

⇒半錠に割りやすい錠剤は**粉碎せず半錠で調剤**を行う

例えば...

アルダクトンA錠25mg

割線が無いいため1回0.5錠の処方では粉碎を行っていた

⇒半分に割りやすいため**粉碎せず半錠で調剤**する



今回行ったこと② 割線の無い錠剤の半錠調剤

・錠剤一覧

アルダクトンA錠25mg

デエビゴ錠5mg

ダーブロック錠4mg

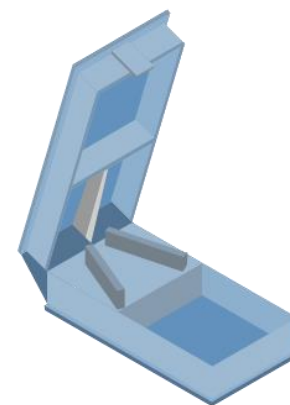
クエチアピン錠25mg「DSEP」

アルファカルシドール錠0.5 μ g「アメル」

エプレレノン錠50mg「杏林」

ラメルテオン錠8mg「武田テバ」

トラゾドン塩酸塩錠25mg「アメル」



1回0.5錠の処方は、
粉碎せずに半錠に割って調剤を行う

結果

2025年6月運用開始から11月末までの6カ月間

1RPを1件とカウントしたところ

- ①粉砕指示のあるOD錠の件数 679件
 - ②割線の無い薬剤の半錠調剤件数 372件
- 計1051件

半年間で

粉砕件数が1051件軽減できたことになる

処方せん										
(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です。)										
公費負担者番号				保険者番号						
公費負担医療の受給者番号				被保険者証・被保険者手帳の記号・番号						
患者	氏名				保険医療機関の所在地及び名称					
	生年月日	西 太 和 平	年	月	日	電話番号				
	区分	被保険者	被扶養者							
交付年月日		平成	年	月	日	有効期間	平成	年	月	日
処方	1. アムロジピンOD錠5mg 1錠 1回1錠 1日1錠 朝食後 7日分									
	2. アルタクトンA錠25mg 0.5錠 1回0.5錠 1日0.5錠 朝食後 7日分									

1件とカウント

結果

粉碎調剤に1件3分程度かかると仮定すると、
 $1051\text{件} \times 3\text{分} = 3153\text{分}$ (約52時間)

粉碎調剤にかかる時間を半年で52時間短縮できたことになる

調剤時間を短縮できたことにより業務負担軽減が図れた



今後は

粉碎調剤をさらに減らすために

- ・ OD錠の採用を増やせないか検討をする
- ・ 半錠調剤できる薬剤の採用を検討をする